

連載

みんなで盛り上げよう！
オリンピック・ムーブメント

パラリンピック・ムーブメント事例紹介

福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
＜福岡県福岡市＞

オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神(オリンピズム)に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。2020年に向けて国内でもさまざまな活動が行われています。

今回は、福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が実施しているパラリンピック・ムーブメント関連の取り組みを紹介します。

福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 研修会
「クラブの引き出しを増やす」
～障がい者スポーツを知る・体験する～

実施日時	平成30年1月20日(土)13:30～
実施会場	福岡県立北九州視覚特別支援学校
参加者数	39人
指導・助言	福岡県総合型地域スポーツクラブ育成委員会
主管	福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

1 企画経緯

健常者も障がい者も一緒に体験する機会創設が目的

福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会では、クラブを取り巻く多様なニーズや社会課題の解決に向け、クラブ関係者の情報交換及び連携を目的に毎年研修会を開催しています。

第2期スポーツ基本計画によると、週1回のスポーツ実施率で健常者が42.5%であるのに対して、障がい者は19.2%となっています。こうした状況を踏まえ今回は、私たち総合型クラブが、地域スポーツの担い手として、障がいの有無にかかわらず、誰もが身近な場所で気軽にスポーツを楽しめる存在となれるよう、まずは障がい者スポーツを『知る』、そして『体験する』研修会を開催することとしました。

他クラブ、パラリンピアンに協力を要請

実施にあたっては、総合型クラブとして、昨今の関心が高まっている障がいの有無にかかわらず一緒にプレーできる『インクルーシブスポーツ』の普及を目指したいとの思いから、既に障がい者スポーツに取り組んでいるクラブやパラリンピアンに講師や用具使用の協力をお願いすることとしました。

また、福岡県の協力により、今後の障がい者スポーツの活動の拠点として現状を認知することも兼ねて、会場は特別支援学校を使用することとなりました。

2 研修内容

【パラリンピアン講話】

「パラリンピアンとして総合型と関わって」

岩崎 満男 氏

(バルセロナ・パラリンピック車いすテニス日本代表)

<講話趣旨>

障がい者スポーツの普及には、
総合型地域スポーツクラブが障がい者スポーツに
介入し、広めていくことが必要不可欠



【講義・演習】

競技用車いすの使い方・管理の仕方について

井手 浩 氏(桜花台クラブ)

<講義・演習内容>

競技用車いすの基本的な取り扱い方、
メンテナンスの仕方、安全な使い方について



【演習】=障がい者スポーツ体験

競技用車いす操作&車いすバスケットボール



3回車輪をこぐ間に1回ドリブルをつくことができるルールで実施

ボッチャ



ルールや投げ方、攻め方など、ゲームを楽しむためのポイントを演習

サウンドテーブルテニス※



ボールが転がってくる音に、瞬時に判断して打ち返すことの困難さを実感
集中力が問われる競技

ブラインドサッカー※



ブラインドサッカークラブの選手が指導
視覚からの情報がなく、音で判断することが大変
仲間とのコミュニケーションが鍵

※NPO法人北九州スポーツクラブACEに所属する視覚障がいの指導者による実技指導

アキュラシー

ルールやゲーム方式を説明し、指導上の留意点も確認

3 参加者・運営側の声

参加者の声(実施後) ※アンケートから

「百聞は、一見にしかず」という言葉があるが、そのことを本当に実感することができた。実際に耳にはするが、やってみないと分からないし、覚えない。障がい者スポーツを体験することで、これだけ苦しいのだということも感じることもできた。共生社会の実現に向けて、困っている人は助けるということを、これから改めて実践していこうと思う。

運営者の声(実施後)

今回の研修で、これまで聞いたことしかなかった障がい者スポーツを、実際に見て、経験できたことで、スポーツの楽しさや難しさを改めて実感することができました。また、今回参加していただいた皆さんにも、このスポーツの持つ力を感じていただけたのではないかと思います。

私たち総合型クラブが、それぞれの地域において障がい者スポーツを推進するためには、実施場所や用具など多くの課題も山積しています。だからこそ、地域や行政をはじめ競技団体・民間企業などと連携して活動の充実を図ることが必要なことだと感じました。

4 今後の展望

平成23年8月に施行されたスポーツ基本法には、「障害者の自主的かつ積極的なスポーツを推進する」との理念が掲げられています。（「障がい者スポーツ」という言葉はありません）

そこで、私たち総合型クラブは、地域の子どもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず全ての人に参加してスポーツを楽しんでいただけるよう、さまざまなスポーツプログラムの準備ができるよう取り組んでいきたいと考えます。

また、これからは「障がい者のスポーツ」という壁をつくるのではなく、全ての人と一緒に自由に楽しめる「スポーツ種目」として普及に取り組み、継続して参加しやすい総合型クラブを目指していきたいと思います。

5 他団体へのアドバイス

総合型地域スポーツクラブに求められるものとして、今後は障がい者スポーツへの関わりが高まると考えます。先進的に取り組んでいくことが様々な道を切り開くことになると思います。

（公益財団法人福岡県スポーツ振興センター・連絡協議会事務局）